

---

口腔科学講座 大講座分野融合型基幹研究  
報告書

口腔機能を指標とした生活習慣病の  
リスクスクリーニングとリスクマネジメント

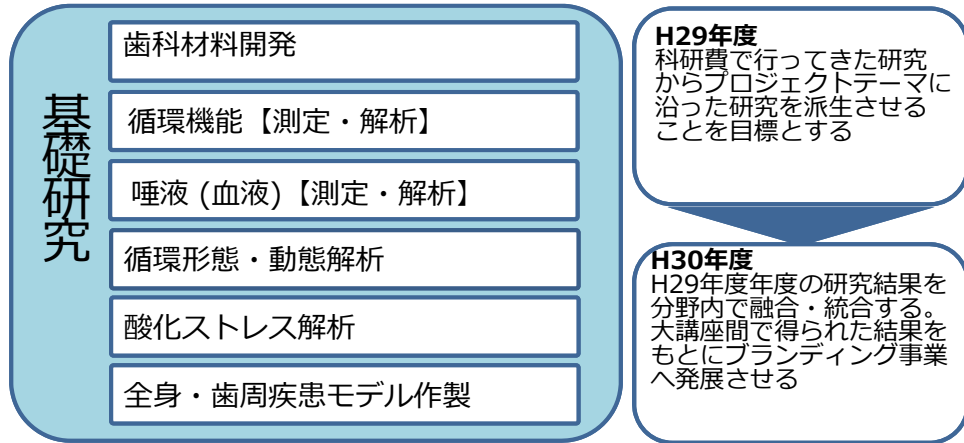
プロジェクトリーダー 松尾 雅斗

---

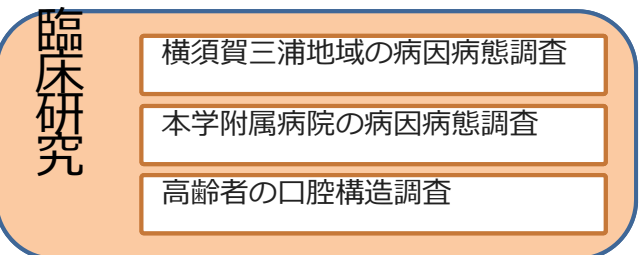
# 口腔機能を指標とした生活習慣病のリスクスクリーニングとリスクマネジメント

## ◎ 【報告事項1】 Achievement (Social contributions) 成果(社会貢献)

- ・全身と口腔の健康に対する社会意識を高めるために必要なエビデンスの確立
- ・歯科医療における生物学的、材料学的背景を歯科基礎医学の視点から解明。
- ・歯科基礎医学専門医から歯科・医科臨床、介護福祉分野への情報提供。



- 研究ユニットとメンバー  
(H28年度、29年度に科研費が採択されているメンバーによる即時実行可能なテーマ)
- 1 瀧田慎也、山本龍生：自治体における生活習慣病健康相談の実施状況の調査
  - 2 東 雅啓、槻木恵一：唾液成分と生活習慣病との関連性を考察し唾液検査実施の検討
  - 3 大橋 桂、二瓶智太郎：バイオカップリング剤を用いた骨誘導能の評価による材料開発
  - 4 三宅 香、二瓶智太郎：新規抗菌性シランカップリング剤の開発と臨床応用への検討
  - 5 佐藤武則、合田征司：歯周病予防に応用可能な有効成分の探索と実践の検討
  - 6 佐々木悠、渡辺清子、浜田信城：歯周病予防に必要なin vivo, vitro研究への応用
  - 7 吉田彩佳、吉野文彦：光線力学療法を応用した口腔疾患治療の可能性の検討
  - 8 高橋聡子、高橋俊介：歯周病に対する抗酸化物質クルクミンの効果と応用の検討
  - 9 河田 亮、松尾雅斗：高齢者における顎関節構造の形態学的調査と疾患の治療・予防
  - 10 飯村 彰、松尾雅斗、瀧田慎也：横須賀三浦地域における病因病態の疫学的調査
  - 11 窪田展久、槻木恵一、瀧田慎也：病理診断科における口腔疾患の疫学的調査



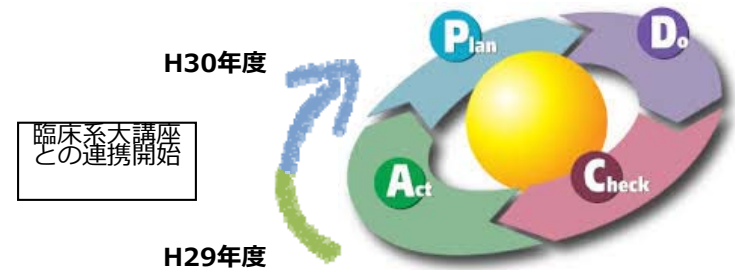
## ◎ 【報告事項2】 Quantitative index (定量的指標)

- 学会発表：Abstract・Proceedingsによるプロジェクト進行度の評価(毎年・長期)
- 論文発表：Original・Reviewによるプロジェクト完成度の評価(本年度・短期)
- Internet発表：大学院ホームページもしくはSNSによる情報公開(毎年・長期)

## ◎ 【報告事項3】 Stakeholder(対象者)

- (1) 歯科臨床医、医療(医師・看護)関係者
- (2) 介護福祉関係者(含行政・リハビリテーション)、歯科医療に興味を持つ市民
- (2) 生活習慣病患者(H29年度)、脳・循環器・呼吸器疾患・悪性腫瘍患者(H30年度以降)

## ◎ 【報告事項5】 PDCAサイクル(詳細は次頁参照)



## ◎ 【報告事項6】 Slogan(標語)：

『口腔科学で健康づくり』

“Oral science contributes to improvement of a human general health.”

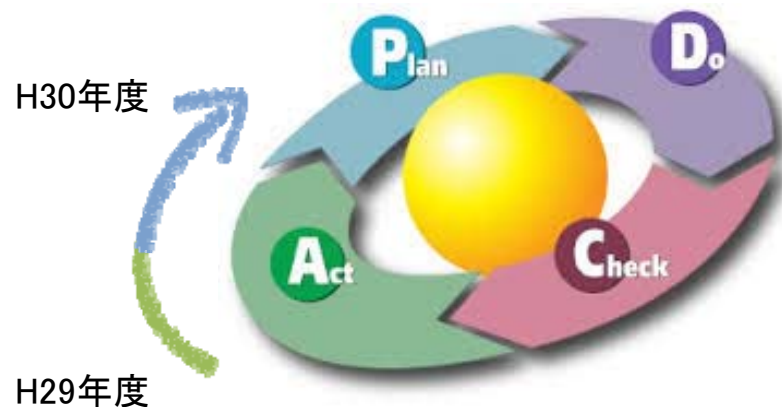
# 口腔機能を指標とした生活習慣病のリスクスクリーニングとリスクマネジメント

## 報告事項5

プロジェクト内にPDCAサイクルを回すためのシステムを構築して下さい。

**Plan**(計画): 分野融合型プロジェクト研究計画の作製(済:6月)  
計画に基づいて研究ユニットに予算配分(済:7月)

**Do**(実行): 年度内に研究・発表の実行: **進行中**  
・抄録~~×~~切: 9月25日  
・総会発表: 11月25日



**Check**(評価):

- ・学会総会にて相互評価
- ・口腔科学講座ミーティング(12月)にてFeedback
- ・Review形式による論文 (原稿~~×~~切: 2018年2月末日: 神奈川歯学)
- ・大講座基幹研究プロジェクト
  - ☞ 成果報告会(2月8日)外部評価者、ステークホルダーによる評価

**Act**(改善): Feedbackから講座研究目的の方向修正・微調整

- ・外部評価者、ステークホルダーによる評価から研究の方向性の検討
- ・研究ユニットの再編成と統合
- ・他の大講座との連携の検討 (2018年2~3月)